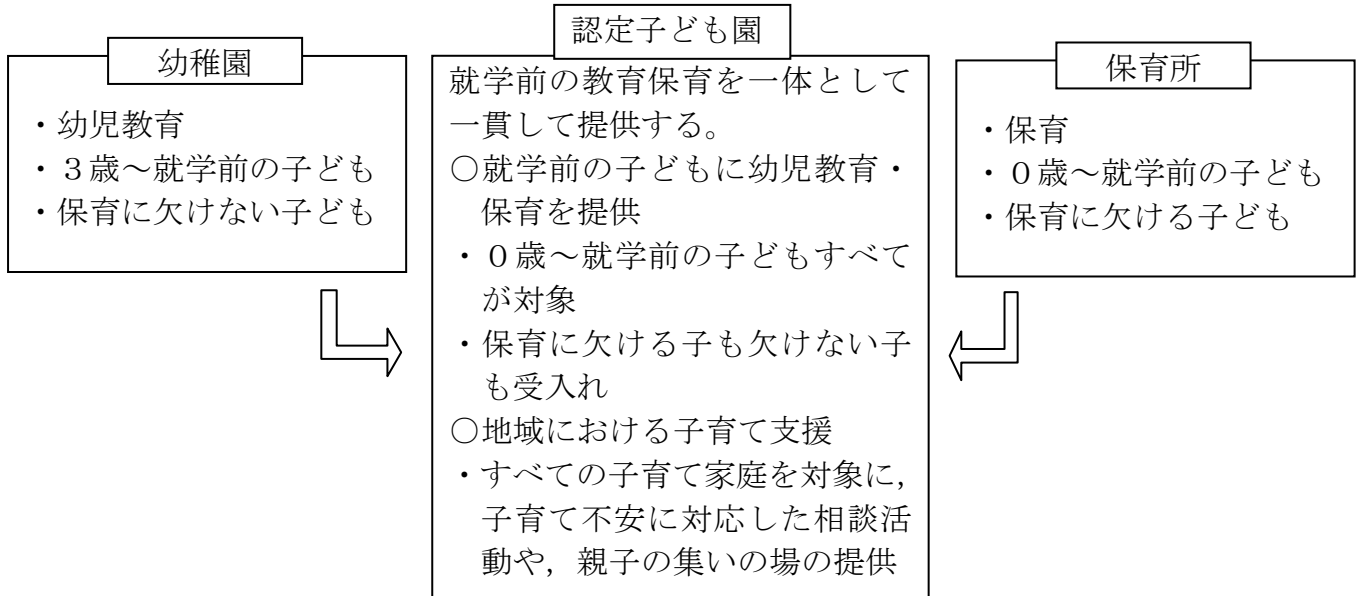
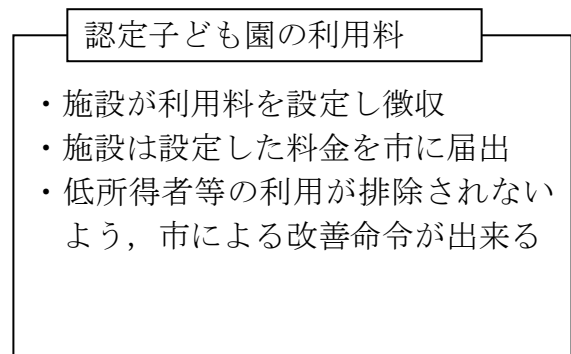
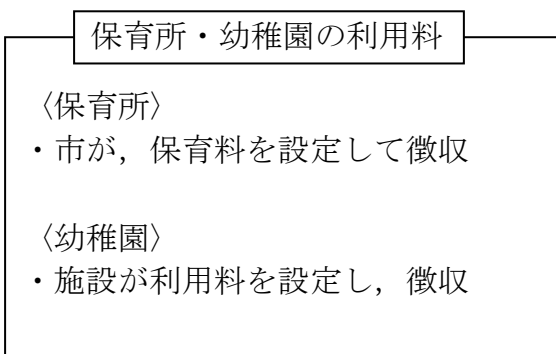
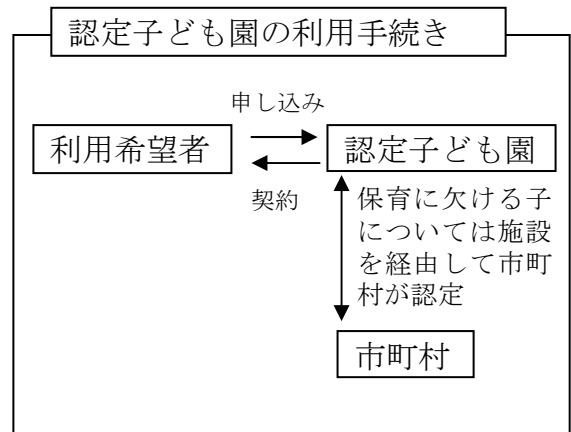
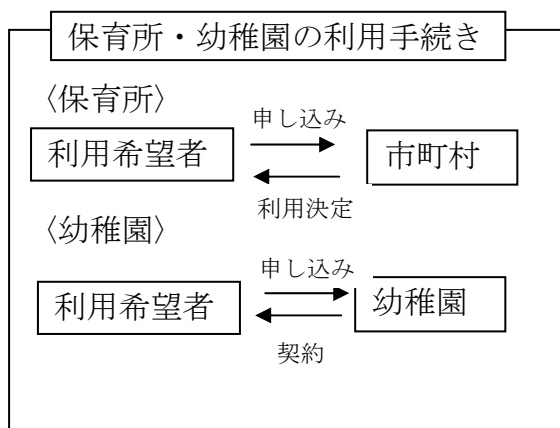


認定子ども園制度について

○「認定子ども園」とは、保育所・幼稚園のうち、以下の機能を備えるものとして、都道府県から認定された施設。

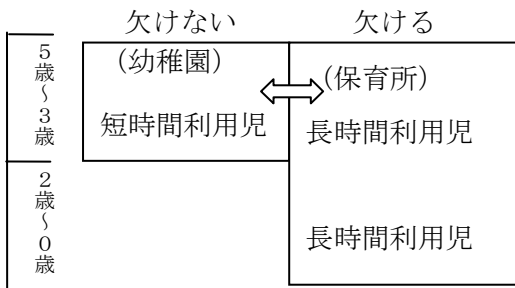


○利用手続きと利用料

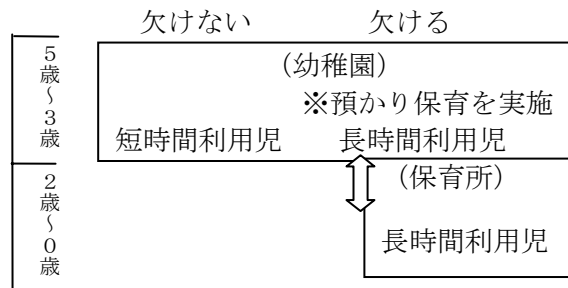


○認定子ども園の類型（例）

1、幼保連携型認定子ども園

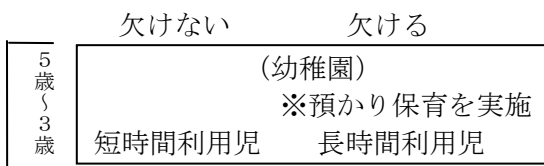


幼稚園及び保育所のそれぞれの用に供される建物等が一体的に設置されている施設であって、当該施設を構成する保育所において、満3歳以上の子どもに対し幼稚園の目標が達成されるよう保育を行い、かつ、当該施設を構成する幼稚園との緊密な連携協力体制が確保されていること。

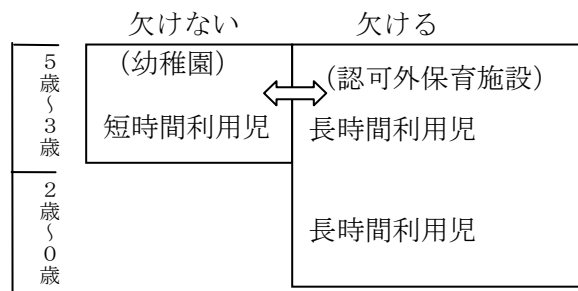


幼稚園及び保育所のそれぞれの用に供される建物等が一体的に設置されている施設であって、当該施設を構成する保育所に入所していた子どもを引き続き当該施設を構成する幼稚園に入園させて一貫した教育及び保育を行うこと。

2、幼稚園型認定子ども園

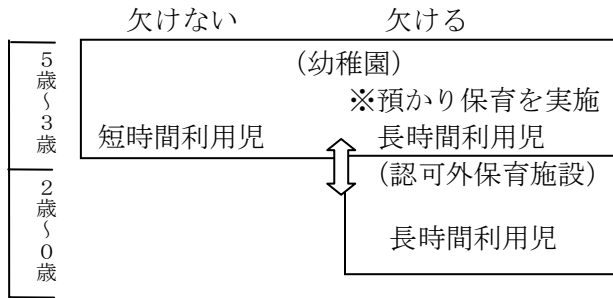


当該施設が幼稚園である場合であって、幼稚園教育要領に従って編成された教育課程に基づく教育を行うほか、当該教育のための時間の終了後、在籍している子どものうち保育に欠けるその乳児又は幼児の保育を行うこと。



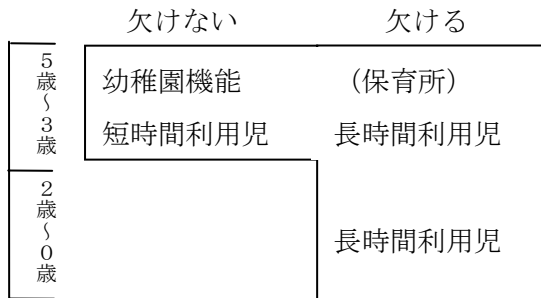
幼稚園及び認可外保育施設のそれぞれの用に供される建物等が一体的に設置されている施設であって、当該施設を構成する認可外保育施設において、満3歳以上の子どもに対し教育目標が達成されるよう保育を行い、かつ、当該保育を実施するに当たり当該施設を構成する幼稚園との緊密な連携協力体制が確保されていること。

幼稚園型認定子ども園（続き）



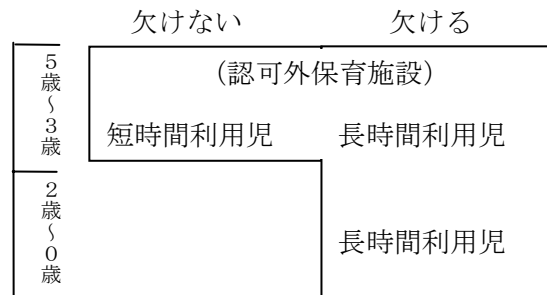
幼稚園及び認可外保育施設のそれぞれの用に供される建物等が一体的に設置されている施設であって、当該施設を構成する認可外保育施設に入所していた子どもを引き続き当該施設を構成する幼稚園に入園させて一貫した教育及び保育を行うこと。

3、保育所型認定子ども園



当該施設が保育所である場合であって、保育に欠ける幼児に対する保育を行うほか、当該幼児以外の満3歳以上の子どもを保育し、かつ、満3歳以上の子どもに対し教育目標が達成されるよう保育を行うこと。

4、地方裁量型認定子ども園



当該施設が認可外保育施設である場合であって、保育に欠ける幼児に対する保育を行うほか、当該幼児以外の満3歳以上の子どもを保育し、かつ、満3歳以上の子どもに対し教育目標が達成されるよう保育を行うこと。